

日本の男女格差 110位

「世界経済フォーラム」は、2018年版、各国における男女格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数」を発表しました。日本は149カ国中110位と前年より4つ順位を上げました。

ジェンダー・ギャップ指数とは、経済・政治・教育・健康の4分野14項目で男女平等の度合いを指数化した順位を決めたもので、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味します。「1」に近づくほど平等で遠ざかるほど格差が開いていると評価されます。

日本の2018年の4分野の順位(149カ国中)は下記のとおりです。

- ・経済・・・117位(前年114位)
- ・政治・・・125位(前年123位)
- ・教育・・・65位(前年74位)
- ・健康・・・41位(前年1位)

特に政治、経済分野において、男女格差が大きい日本の状況が見えてきます。日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言い難い状況です。日本は日本の文化、社会の状況等にも配慮しつつ、国際的な観念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中の慣習や意識を見直し、男女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。



ジェンダー・ギャップ指数(2018) <<主な国の順位>>

順位	国名	指数	順位	国名	指数	順位	国名	指数
1	アイスランド	0.858	10	ナミビア	0.789	70	イタリア	0.706
2	ノルウェー	0.835	11	スロベニア	0.784
3	スウェーデン	0.822	12	フランス	0.779	75	ロシア	0.701
4	フィンランド	0.821	13	デンマーク	0.778
5	ニカラグア	0.809	14	ドイツ	0.776	103	中国	0.673
6	ルワンダ	0.804	15	イギリス	0.774
7	ニュージーランド	0.801	16	カナダ	0.771	110	日本	0.662
8	フィリピン	0.799
9	アイルランド	0.796	51	アメリカ	0.720	115	韓国	0.657